

廃食用油の資源化モデル事業の概要について

1 目的

ア 資源循環型社会の構築のための意識付け

- ・ 資源循環型社会の構築が求められていることから、市民の目に見える形でリサイクルが可能な廃食用油のリサイクル事業を実施し、市民への意識啓発を推進する。

イ 環境負荷の軽減

- ・ 軽油の代替燃料としてバイオディーゼル燃料の利活用を推進することにより、CO₂削減を目指す。

ウ 障がい者の自立支援

- ・ 廃食用油のリサイクル事業を支援することにより、障がい者の自立や就労機会の場の創出を図り、環境を通じて地域と福祉のネットワークを活性化する。

2 モデル事業の概要

姿川・雀宮地区市民センター所管地域において、一般家庭及び市内小中学校（学校は横川地区を含む）から排出される廃食用油を回収し、軽油の代替燃料であるバイオディーゼル燃料（BDF）を製造する。

<事業の詳細>

- ・ 事業主体：宇都宮市（モデル事業）
- ・ 対象モデル地域：姿川，雀宮地区市民センター所管の地域(約 37,000 世帯)
- ・ 廃食用油の回収・製造：福祉法人等 3 団体へ委託
- ・ 回収拠点：17 箇所（対象地区内スーパー 4 社 9 店舗・市施設 8 ヶ所）
- ・ モデル地区内廃食用油提供協力校：16 小中学校(姿川，雀宮，横川地区)
- ・ バイオディーゼル燃料製造量：16,700 リットル/年
- ・ 製造されたバイオディーゼル燃料の利用：市有ごみ収集車（6 台）

3 事業スケジュール

平成19年度 廃食用油回収 PR

11月1日 試験回収開始

12月1日 本事業開始

平成20年度～ 廃食用油回収 PR

モデル事業評価のためのデータ収集

評価にもとづき、今後の事業展開について検討